

事業所歯科健診のすすめ

一生自分の歯でくらしよう



健康な歯で楽しい職場

社団法人 宮城県歯科医師会
宮城産業保健推進センター



はじめに



一般的に、多くの方は学校検診以後定期的な歯科健診を受ける機会がありません。40歳以降になると、節目健診などの機会にあうこともあります。この間の空白の期間を埋めるためにも事業所歯科健診は重要だと考えられています。

歯に対する一般的な認識は、歯が痛み始めてからその重大さに気づき、歯を喪失して初めて歯の大切さに気づくということを繰り返しています。特に仕事に従事している方の多くは、時間的制約の中で健診や治療より仕事を優先し、ますますひどい状態になってしまいます。

事業所単位での歯科健診は、従業員、家族の健康保持はもちろん、口臭やストレス予防のためにも大切な事業であると認識され始めています。そして口の中のトラブルが解消されることによって、体の調子が整えられ労働意欲の向上や作業能率の増進、ひいては治療期間・総医療費の減少にもつながります。



歯科健診の目的

1. 歯科疾患の早期発見

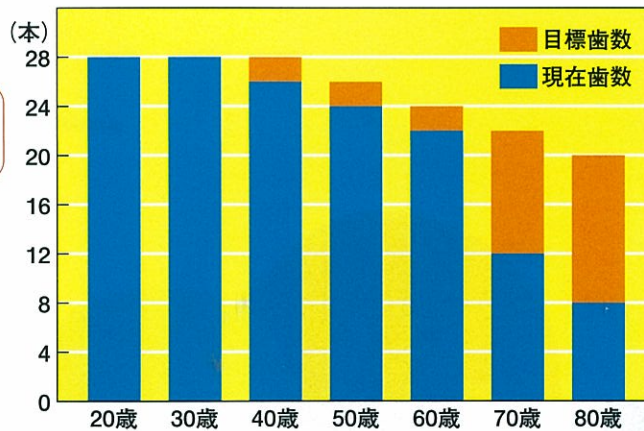
健診によりむし歯を早期発見することによって、その後の治療が短期間で簡単に済むようになります。



2. 歯を長持ちさせ、8020の達成

健診、その後の治療により、口の中を健康に保つことができ、歯の寿命を延ばせます。

※現状は右の表のように80歳で8本となっています



3. 生活習慣の改善

自分の口の中の状態を知ることによって、歯磨きの習慣の見直し、歯磨きの動機付けになります。

成人期の歯周病予防の目標



40歳で進行した歯周炎になっていない人



50歳で進行した歯周炎になっていない人



40、50歳で歯間清掃用具を使用している人

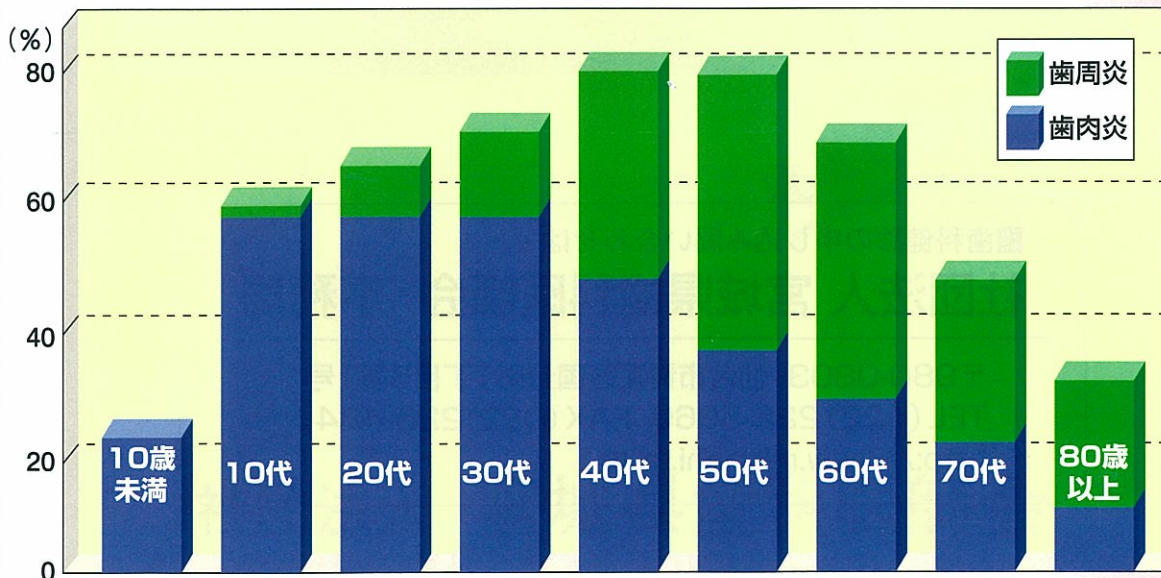
事業所としてのメリット

口は生活の基礎となる栄養源をとることができる唯一の器官であり、その環境を正常に保つことは、自ずと体の中の器官も正常な状態に保つことが可能になります。よく噛むことができないと、内臓に負担がかかったり、栄養摂取が偏ったりとトラブルが多くなりそれにかかる生活習慣病も発生してきます。また、むし歯が多くあったり、歯がないというような口の中にトラブルを抱えている場合、口臭がひどい、発音が悪い等、仕事にも悪影響を及ぼすことになります。他、以下のようにまとめてみます。

- ① 健康増進による生活習慣病の減少。
それにかかる医療費も減少する。
- ② 労働意欲の向上、作業能率の増進
- ③ 遅刻・早退・欠勤の減少
- ④ 事故・トラブルの減少



お口の中のトラブルはほとんどの人がかかっています

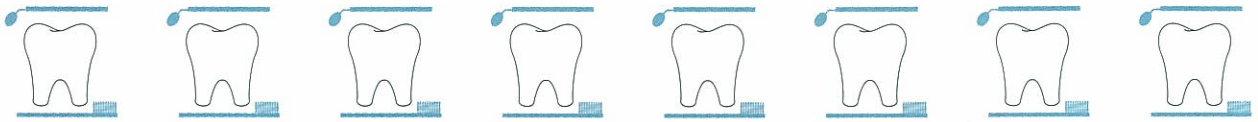


事業所歯科健診の実施

事業所歯科健診は、歯科医師会と各事業所が協力して行います。その方法には2種類あり、歯科医師、歯科衛生士が事業所に出張して健診を実施するもの。受診者が近くの登録医療機関に直接健診に行くもの。が考えられます。どちらの場合も健診の内容は同じで、以下のものを予定しています。

- 1. 簡単な問診の実施**
(問診票に簡単に答えてもらいます)
- 2. 口腔内の診査**
(現在の歯の状況を詳しく調べます)
- 3. 歯肉の状況の検査**
(CPIという“歯周疾患”検査方法により判定します)
- 4. 口腔の清掃状況**
(歯の汚れや、磨き残しがあるところを確認します)
- 5. その他の所見**
(顎関節、口腔粘膜、歯列の状態を検査します)
- 6. 簡単な口腔衛生指導**
(歯の状況にあった歯ブラシ方法の確認をします)
- 7. 健診結果の判定とその通知**
(健診結果から治療の要、不要を判定します)





■ 歯科健診の申し込み問い合わせは・・・

社団法人 宮城県歯科医師会 事務局

〒980-0803 仙台市青葉区国分町1丁目5番1号
TEL (022) 222-5960 FAX (022) 225-4843
<http://www.miyashi.or.jp>